



●10月19日(木)、旭小学校の3年生が、魚市場や水産加工場(丸福水産)の見学に行きました。

丸福水産では、マグロを裁断する様子や皮剥きの作業に歓声を上げていました。



その後、2グループに分かれて冷凍庫へ入りました。子どもたちは、 -50°C の世界に、震えながらも説明をしっかりと聞いていました。最後に、マグロの重さをはかるはかりにものせてもらいました。



●初声中学校で、海洋教育コーナーの展示があるということで、取材に行ってきました。

驚いたのは、生徒が一番川の河口で捕まえてきたウナギを飼っていたこと。一



番川にウナギが上がるのは聞いていましたが、実物にお目にかかるのは初めてでした。ほかにも、イセエビやカワハギも飼っていました。

海洋教育コーナーでは、生徒が海の生き物について調べた掲示物やレポートなども展示されていました。



●25日(水)には、南下浦小学校の1年生が、海の授業に参加しました。



MI ZUBE探検隊の皆さんが、昨年引き続き指導してくれました。近くの海で行う予定でしたが、雨風が強く、教室内で実施しました。探検隊の皆さんが、雨の中、海で獲ってきてくれた魚たちを観察します。子どもたちは、水槽に顔を近づけて興味津々のようすです。



その後、それぞれの魚の特徴や性格などの説明を受け、気に入った種類をスケッチしていきます。完成した絵は、何らかの形になって、みんなにプレゼントされるそうです。(何になるかは、お楽しみだそうです)

また、南下浦小学校では、廊下にずっと、海の授業の取り組み(3年生の調査のまとめや4年生の塩づくりなど)が掲示されていて、まさに「海洋教育通り」になっていました。

